

解決に向けた重要な局面

第180回 拡大中央 委員会



国鉄新潟



全体の発言

JR不採用事件、最終局面になっている。いかなる妨害に屈せず闘いを進めていくことを全体で確認したい。いっしょに、解決に向けた流れになっていく。道内一〇〇ヶ所まで集会を取り組んだ。自民党からも激励があった。2・16中央集会や2・13北海道集会を成功させる。政治解決に向けた大変重要な局面だ、全体の団結を。

貨物の経営状況が悪化している。雪害で収入が厳しい実態になっている。会社は三年連続の赤字は出さないとしている。そのため効率化人件費の削減

安全問題、ワンマン列車と排雪列車の事故が富良野駅で発生した。現場は、エルダー社員など高齢者が多くなつて、新規採用者が少ないため技術継承ができなくなっている。安全問題による全国統一闘争の実施や安全問題調査委員会の強化をしていく。

NO. 682
発行
10・2月20日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者 関川 和彦
編集責任者 教 宣 部

書記長集約

JR不採用問題について

現段階の到達点を全体で確認する。政治の場で解決を図る。直接の交渉テーブル・要請書を提出した。要求の3項目については裁判所へ届けた。与党3党は3項目について年度末までに解決するため努力する。国交大臣も対処していくと答弁した。4者4団体は1月、具体的な要求について与党3党に説明した。国会では、前原大臣もしっかり対応していきたいと答弁。政府も動き出す局面だ。これからは解決水準をめぐる攻防になっていく。我々の団結の強化と、情報の集中と管理が重要だ。裁判闘争大衆行動が導き出している。

春闘について

生活が苦しいが全体の労働者とJRとの統一闘争を守っていいのか、そのため5千円の要求額となった。政策課題について、高速道路の無料化～政府も慎重に対応。並行在来線・三島貨物問題など、どう実現していくか・どう具体的な運動を中央・地方が一体になれるか。

安全問題について

効率化・外注化・要員問題が事故を発生させる要因になっている。会社の社会的責任について会社側と協議していく。

組織拡大について

職場の闘いから、拡大につながっている。分会の意思統一から拡大へ。全国から、安全問題の取り組みから、組織拡大につなげていく。

選挙について

さまざまな社会問題、労働者全体の問題など、多くの課題がある全面的に選挙運動をがんばっていく。

ど強行されている。貨車検修の要員見直しで、現場では事故が多発している。要員合理化に反対だ。2010春闘、一月十九日、経団連は定昇無し、賃金を押さえ込もうとしている。賃上げは統一要求として取り組むこと。すべての労働者の賃上げを求めていく。今春闘で生活改善・労働条件の改善の闘いを進めていくこと。非正規労働者の長時間労働の廃止・年休の取得、割増賃金の改善など、JRに求めていく。



JR不採用問題、自治体意見書採択について、地方で初めて主旨説明をおこなった。リストラに反対し闘っているN-TTとの合同集会を開催した。中央行動で国会議員への要請行動を展開。十二月四日に決起集会を開催、宣伝行動も展開した。利用者アンケートを実施し、その結果を持って陸運局へ要請行動を取り組んだ。地域から、2・16集会への参加を取り組み、盛り上がりつつある。地方・中央が一体となり四者四団体の団結をいっそう強めていく。



春闘要求額5千円についてどうなのか。賃金アンケートなど取り組んでいるが形骸化させないようにしてほしい。国労としての生要求を尊重してほしい。JR不採用問題、本当に納得のできる運動を取り組んでいく。自転車での宣伝行動を取り組んだ。マスコミを活用した宣伝を取り組んでほしい。反合、安全問題について反合同争は重要だ。国労が今の企業体質を変えさせる取り組みを強化していく。地域に闘いを広める。



JR不採用問題へ自治体意見書採択の取り組み、国会議員への要請行動の実施。12.5県集会を開催し一〇〇名以上が結集、カンパも実施した。多くの支援団体、組織に呼びかけることによって多くの仲間が結集する。解決の口まであらゆる闘いを取り組んでいく。

経営環境へ高速料金・インフルエツなど収入が上がらない。部内で経費削減が実施されている。列車はワンマン運行されている。特急列車もワンマン化が提案、ドア扱いは客室乗務員が対応する。安全問題も含め国交で追及したが三月ダイヤ改定で実施される。二鳥・貨物問題について、地域で、問題解決に向けて運動を進めていく。



横浜人活の闘いでは、全国からの支援に対し御礼を申し上げたい。署名、団体2858筆、個人では10万3058筆を集約した。判決を総括し今後の闘いに生かした取り組みを進めていく。非正規労働者の首切り、解雇撤回などの闘いに共闘していく。2・16集会成功に向けて

組・支援団体への要請・オルグを展開。すべての共闘組織へ要請していく。連帯し共に行動していくこと。政治解決に向けて全体が運動を強化していく。

組織拡大へ職場での組合説明会の実施を要請していく。前回は多分、実施し多くの参加者、グリーンスタッフなど、二回目の参加者もいた。エルダー・嘱託・プロパーへの労働条件改善の取り組みを進める。分会を結成させたい。全国の仲間と競い合って組織拡大を進めていく。

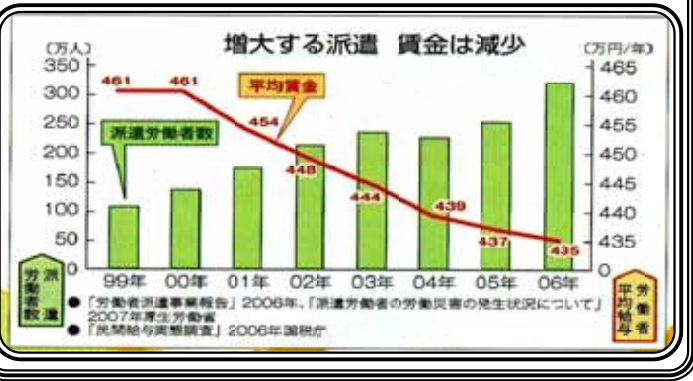
二十四年を超えさせない闘い、決意を全体で意思統一を。四者四団体の結束を固めよう。大会後、闘争団と街宣行動、物販活動を展開した。十一月、県集会の開催、署名の要請。

闘争支援など全体で取り組んできた。組織拡大へ八名の拡大・新人が二名、その他六名中、五名が復帰だった。分会全員が来るものはばまず。分会全体の意思統一が必要だ。上



「労働者派遣法」今すぐ改正しよう

大企業が非正規切りをすすめるおもとは、「労働者派遣法」があります。労働諸法規に定められた「使用者の雇用責任」を、なし崩しにしてきた同法を今すぐ改正する必要があります。また低賃金の「ワーキングプア」を生み出す原因にもなっています。派遣先企業の労働者と均等待遇の義務付けを求める運動を広げましょう。



部機関との連携強化 情報の管理 加入後の面倒をみる。無所属の社員が国労に加入した。分会・支部・地本が一体となった取り組みを。JR不採用問題へ政治解決に向けて三項目の要求を実現させるため一点集中した闘いを進めていく。十一月十八日に群馬県集会を開催。三〇〇名が結集した。県職労が多く参加した。十二の共闘組織が結集した。勝利後は新たな運動体にしていく。これまでの支援を返していく闘いをしていく。

格差・貧困は、国労攻撃以降から強まってきた。社会的な運動をつくりたい。安全問題・春闘について、JR東日本の内部留保は一兆円。五千円の統一要求について、アンケート調査結果から、どうなのか。生要求がいかにされていないのではないかと配置した闘い体制をつくり行使用していく。保守メンテへ事故の多発と格差の拡大。車両検修の全面外注化について、安全を崩壊させる提案だ。ストで闘う体制を作っていく。



物販について各分会では物販の強化・アルカ販売を展開している。目標を上回る状況になっている。安全問題に関する手引書の作成はどうか。

組織拡大へ交流会・対策会議を積み重ねてきた。昨年一名の拡大、分会の闘いから拡大へつながっている。個人的なつながりから組織的な運動

になっている。福知山線脱線事故は今年の四月二十五日で五年目になる。事故調からの情報漏えいで問題になっている。七回の各労働組合との会議を開催した。会社は、職場労働者に対する裏切り行為だ。四月に新人が千名入社する。自らの意志で、労働組合に加入できる環境をつくっていく。

2010春闘へ要求額、五千円を取りきる闘いを取り組む。契約社員の労働条件改善の闘いを取り組み、その闘いから組織拡大を取り組んでいく。3・18統一行動日を地域組織と実施する。社員は会社から、増収活動を強制されている。暴給が上がらず、五〇歳以上は賃下げになっている。春闘を働くももの権利を守る闘いにしていく。職場の仲間の要求実現に向けて取り組みを強化していく。

編集後記

拡大中央委員会の特集記事になりました。発言内容について、不十分などところがありますが、委員会の雰囲気を感じられれば幸いです。後ほど、国鉄新聞で詳細にわたり記載されますので国鉄新聞をご参照ください。

